

「ひとをきずつけるいたずら」

6月26日（火）全校集会にて、校長より「ひとをきずつけるいたずら」についてお話をしました。「もちものにいたずら」や「ノートにらくがき」などの現在おこっている諸問題についてお話をしました。また、普段の会話のなかでも、ひとをきずつけることばなどについて「チクチク言葉」、ひとを元気にさせる「ふわふわ言葉」についても説明しました。

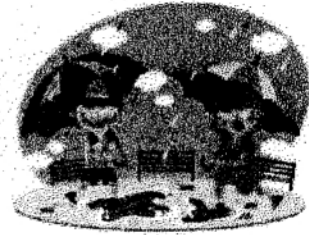
最後には、小学生がつくった標語についても紹介し、自分の言葉づかいや行動について、考えさせました。

「その言葉自分に向かって言えますか」

「その言葉ぼくもいやなら君もいや」

「消しゴムで消せない一言その重さ」

「優しい言葉の水かけで咲かせよう心の花」



児童の皆さんは、途中の質問についても多く手を挙げ、何よりも最後まで真剣に聞いていました。その後、学級に戻って担任の先生からもお話をしていただき、再度このことについて学習しました。その中で、6年生の児童の感想文を紹介します。

私は、校長先生のお話を聞いて、絶対にチクチク言葉を使ったらいけないということが今までより、さらによくわかりました。もし、私が相手にチクチク言葉を使ってしまったり、されたりしたら相手もきずつけると思えます。なので人にむかってこういうことはしてはだめだと思いました。もしだれかがチクチク言葉を使っている人がいたら注意しようと思えます。ふわふわ言葉について私は、とてもたくさんのいい言葉があることがわかりました。特に、私は気に入ったところは、「やさしい、ありがとう」などです。これからは、いまよりもっとたくさんふわふわ言葉を使いたいと思えます。

ぼくは、校長先生の話聞いて、絶対にいじめはしてはいけないと思いました。自分がされていやなことは相手もいやがるからしたらだめと親からも言われていたので、本当にはいけないと思いました。そして、これからはチクチク言葉ではなく、ふわふわ言葉をいっぱい使いたいと思いました。「ありがとう、すごいね、いいね、やさしい、やればできる、きみならできる。」

私は、校長先生の話聞くともっと友達を大切にしたいと思いました。それは標語を見て思いました。標語には友達の気持ちがこめられていてよかったです。そして、ふわふわ言葉を意識して話をしたり、言葉を使いたいと思いました。自分がされていやなことをしたり、言葉は使いたくないと思いました。「大好きだよ・ずっと友達だよ・仲良くしようね、いいしょに遊ぼう・優しいね・すごいね・よかったね・がんばってね・大じょうぶ・おめでとう・ありがとう・相談にのるからね・勇気を出してね・絶対に味方だからね・上手だね・がんばったんだから意味あるよ」